



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル  
 コード番号 8275 URL <https://www.forval.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 將典  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二 TEL 03-3498-1541  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	26,552	8.3	1,355	12.5	1,389	11.8	890	26.7
2018年3月期第2四半期	24,527	△0.1	1,205	△9.0	1,242	△2.4	702	△9.0

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,021百万円 (17.4%) 2018年3月期第2四半期 869百万円 (△37.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	35.50	35.50
2018年3月期第2四半期	27.55	27.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	27,285	10,376	34.4
2018年3月期	24,979	9,909	35.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 9,394百万円 2018年3月期 8,949百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	3.2	3,000	5.1	3,100	4.7	1,830	4.9	73.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	27,732,622株	2018年3月期	27,732,622株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,634,451株	2018年3月期	2,663,450株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	25,077,124株	2018年3月期2Q	25,510,416株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示変更について）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害に見舞われながらも海外経済の緩やかな成長を受けて輸出の増加基調が続き、企業収益や雇用・所得環境の改善を受けて設備投資や個人消費も底堅く推移しました。一方で米国の保護主義的な通商政策や英国のEU離脱問題など不確実性も増えています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT関連などのサービスが拡大するとともに、AIを活用したサービスの開発が加速しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス(情報通信分野)」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス(海外分野)」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス(環境分野)」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス(人材・教育分野)」の4分野において他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ2,024百万円増加し、26,552百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ744百万円増加(前年同期比9.1%増)した一方で、販売費及び一般管理費は人件費等の増加があったものの前年同期に比べ593百万円増加(前年同期比8.6%増)にとどまった結果、営業利益は1,355百万円(前年同期比12.5%増)、経常利益は1,389百万円(前年同期比11.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は890百万円(前年同期比26.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <フォーバルビジネスグループ>

「アイコンサービス」が順調に拡大した結果、売上高は9,617百万円(前年同期比4.7%増)、一方で人件費等の増加の影響でセグメント利益は865百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

#### <フォーバルテレコムビジネスグループ>

光回線サービスやISPが順調に拡大した結果、売上高は8,341百万円(前年同期比15.0%増)、セグメント利益は343百万円(前年同期比29.8%増)となりました。

#### <モバイルショップビジネスグループ>

携帯販売台数が前年同期比7.3%減となったものの単価の高いスマートフォンの比率が高まった結果、売上高は5,305百万円(前年同期比6.0%増)となりました。一方で人件費や販促費等の増加の影響で、セグメント利益は58百万円(前年同期比34.6%減)となりました。

#### <総合環境コンサルティングビジネスグループ>

再生可能エネルギー特別措置法(FIT法)改正の影響を受け産業用太陽光システムの販売が減少したものの、住宅用太陽光システムやオール電化製品等の販売が増加した結果、売上高は2,636百万円(前年同期比5.9%増)、セグメント利益は39百万円(前年同期は53百万円の損失)となりました。

#### <その他事業グループ>

セミナー関連が好調に推移した結果、売上高は651百万円(前年同期比9.9%増)、改訂版の発行に伴う旧刊の廃棄損等の影響で、セグメント利益は56百万円(前年同期比13.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,305百万円増加し27,285百万円となりました。これは主として連結子会社㈱フォーバルテレコムにおいて前払費用もしくは長期前払費用として計上している代理店へのインセンティブの支払いが増加したこと、第2四半期連結会計期間末日である9月末日が金融機関休業日となり回収が翌月となったため未収入金が大きく増加したこと、㈱フォーバルテレコムの保険代理店事業を行う子会社が店舗を譲り受けたこと、及びこれらの必要資金に対して金融機関より短期借入を行ったことに起因しています。

流動資産は19,784百万円となり、前連結会計年度末比1,196百万円の増加となりました。これは主として未収入金が1,228百万円増加したことによるものです。

固定資産は7,500百万円となり、前連結会計年度末比1,108百万円の増加となりました。これは主として有形固定資産が61百万円、事業の譲受け等により無形固定資産が183百万円、長期前払費用の増加により投資その他の資産が863百万円増加したことによるものです。

流動負債は14,332百万円となり、前連結会計年度末比1,806百万円の増加となりました。これは主として短期借入金が2,194百万円増加したのに対し、未払法人税等が294百万円、支払手形及び買掛金が192百万円減少したことによるものです。

固定負債は2,576百万円となり、前連結会計年度末比32百万円の増加となりました。これは主として長期借入金が30百万円減少したのに対し、退職給付に係る負債が55百万円増加したことによるものです。

純資産は10,376百万円となり、前連結会計年度末比467百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益890百万円に対し配当金の支払額526百万円により株主資本が390百万円、有価証券の時価上昇等でその他の包括利益累計額が54百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は7,593百万円となり、前連結会計年度末に比べ225百万円の増加となっております。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は804百万円(前年同期は909百万円の獲得)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が1,374百万円、未払金の増加による資金の増加が511百万円、売上債権の減少による資金の増加が475百万円あったのに対し、9月末日が金融機関休業日のため連結子会社㈱フォーバルテレコムにおいて翌月回収となったことを主要因として未収入金が1,228百万円、代理店に対するインセンティブ支払等による前払費用の増加による資金の減少が1,144百万円、法人税等の支払額が614百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は586百万円(前年同期は391百万円の使用)となりました。これは主として事業を譲受けたこと等による無形固定資産の取得による支出が434百万円、有形固定資産の取得による支出が107百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,579百万円(前年同期は579百万円の使用)となりました。これは主として配当金の支払額が524百万円、長期借入金の返済による支出が115百万円あったのに対し、連結子会社の㈱フォーバルテレコムにおいて短期借入金の純増額が2,280百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、2018年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

なお、2018年10月18日に公表しました『「連結子会社の異動及び特別利益の計上に関するお知らせ」の中止に関するお知らせ』に記載のとおり、連結子会社の㈱リンクアップは2018年10月18日付開催の臨時株主総会において自己株式の取得に関する議案を付議することを予定しておりましたが、同日中止をしております。この自己株式の取得が実施された場合には連結業績に影響する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,443,011	7,668,328
受取手形及び売掛金	6,326,775	5,895,208
商品及び製品	1,131,908	1,021,429
仕掛品	47,129	53,014
原材料及び貯蔵品	151,631	255,086
未収入金	1,974,939	3,203,454
その他	1,623,228	1,901,483
貸倒引当金	△110,404	△213,045
流動資産合計	18,588,218	19,784,959
固定資産		
有形固定資産	514,712	576,327
無形固定資産		
のれん	437,755	594,035
その他	610,858	638,567
無形固定資産合計	1,048,614	1,232,603
投資その他の資産		
投資有価証券	1,659,564	1,664,628
繰延税金資産	1,242,850	1,211,969
その他	2,369,159	3,238,944
貸倒引当金	△443,701	△424,330
投資その他の資産合計	4,827,873	5,691,211
固定資産合計	6,391,200	7,500,142
資産合計	24,979,419	27,285,101
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,522,968	5,330,724
短期借入金	1,566,551	3,760,600
未払金	2,328,129	2,794,906
未払法人税等	671,307	376,760
賞与引当金	689,943	511,703
役員賞与引当金	175,608	103,404
返品調整引当金	12,613	10,825
その他	1,559,267	1,443,674
流動負債合計	12,526,390	14,332,599
固定負債		
長期借入金	210,000	180,000
退職給付に係る負債	2,264,824	2,320,678
持分法適用に伴う負債	11,892	16,364
その他	57,248	59,230
固定負債合計	2,543,965	2,576,274
負債合計	15,070,355	16,908,873

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,289,498	2,299,043
利益剰余金	3,600,191	3,964,068
自己株式	△1,572,959	△1,555,833
株主資本合計	8,467,025	8,857,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	584,576	616,402
為替換算調整勘定	△26,543	△16,362
退職給付に係る調整累計額	△75,176	△63,140
その他の包括利益累計額合計	482,856	536,899
新株予約権	40,815	47,511
非支配株主持分	918,366	934,242
純資産合計	9,909,063	10,376,227
負債純資産合計	24,979,419	27,285,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	24,527,858	26,552,400
売上原価	16,386,667	17,667,043
売上総利益	8,141,190	8,885,357
販売費及び一般管理費	6,935,477	7,529,364
営業利益	1,205,712	1,355,992
営業外収益		
受取利息	3,500	3,313
受取配当金	16,938	17,386
為替差益	1,989	17,430
違約金収入	67,919	14,036
その他	27,138	26,784
営業外収益合計	117,486	78,951
営業外費用		
支払利息	5,241	9,259
貸倒引当金繰入額	47,579	25,636
持分法による投資損失	22,815	7,210
その他	5,317	3,660
営業外費用合計	80,954	45,767
経常利益	1,242,244	1,389,177
特別利益		
固定資産売却益	0	17
新株予約権戻入益	—	352
特別利益合計	0	369
特別損失		
固定資産除売却損	1,765	4,655
投資有価証券評価損	—	10,000
減損損失	113	—
その他	136	—
特別損失合計	2,015	14,655
税金等調整前四半期純利益	1,240,229	1,374,891
法人税、住民税及び事業税	407,528	325,751
法人税等調整額	49,716	82,177
法人税等合計	457,244	407,929
四半期純利益	782,984	966,962
非支配株主に帰属する四半期純利益	80,272	76,633
親会社株主に帰属する四半期純利益	702,712	890,329



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	782,984	966,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,790	31,826
退職給付に係る調整額	12,014	12,036
持分法適用会社に対する持分相当額	△965	10,181
その他の包括利益合計	86,840	54,043
四半期包括利益	869,825	1,021,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	789,553	944,373
非支配株主に係る四半期包括利益	80,272	76,633

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,240,229	1,374,891
減価償却費	168,558	175,307
減損損失	113	—
のれん償却額	45,517	41,879
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28,944	83,108
賞与引当金の増減額(△は減少)	△191,483	△178,240
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△95,088	△72,203
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	73,936	73,202
受取利息及び受取配当金	△20,439	△20,699
支払利息	5,241	9,259
持分法による投資損益(△は益)	22,815	7,210
固定資産除売却損益(△は益)	1,764	4,637
投資有価証券売却損益(△は益)	136	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	10,000
売上債権の増減額(△は増加)	514,684	475,871
たな卸資産の増減額(△は増加)	112,650	11,739
前払費用の増減額(△は増加)	13,368	△1,144,684
未収入金の増減額(△は増加)	75,514	△1,228,515
仕入債務の増減額(△は減少)	△716,739	△216,701
未払金の増減額(△は減少)	143,622	511,163
その他	△32,847	△119,474
小計	1,390,499	△202,245
利息及び配当金の受取額	21,535	21,161
利息の支払額	△5,215	△8,823
法人税等の支払額	△497,482	△614,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	909,337	△804,020
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△87,322	△107,511
無形固定資産の取得による支出	△65,832	△434,835
投資有価証券の取得による支出	△276,342	△3,700
投資有価証券の売却による収入	2,452	895
貸付けによる支出	△117,700	△51,700
貸付金の回収による収入	178,863	6,228
その他	△25,519	3,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△391,400	△586,830

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	2,280,000
長期借入金の返済による支出	△4,665	△115,951
配当金の支払額	△482,100	△524,241
非支配株主への配当金の支払額	△59,913	△60,647
その他	△3,043	478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△579,721	1,579,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,460	8,579
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60,324	197,366
現金及び現金同等物の期首残高	5,921,465	7,367,811
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	27,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,861,141	7,593,128

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,188,415	7,253,602	5,002,764	2,490,050	23,934,832	593,025	24,527,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	259,380	314,450	9,116	27,643	610,590	18,926	629,516
計	9,447,795	7,568,052	5,011,880	2,517,693	24,545,422	611,952	25,157,374
セグメント利益又は損 失(△)	869,821	264,547	89,591	△53,753	1,170,207	65,756	1,235,963

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,170,207
「その他」の区分の利益	65,756
セグメント間取引消去	3,468
のれん償却額	△33,719
四半期連結損益計算書の営業利益	1,205,712

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。  
なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては113千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,617,574	8,341,417	5,305,022	2,636,545	25,900,559	651,841	26,552,400
セグメント間の内部 売上高又は振替高	260,762	242,181	10,953	32,348	546,246	25,380	571,626
計	9,878,336	8,583,599	5,315,975	2,668,894	26,446,805	677,221	27,124,027
セグメント利益	865,581	343,400	58,632	39,455	1,307,069	56,710	1,363,780

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,307,069
「その他」の区分の利益	56,710
セグメント間取引消去	1,210
のれん償却額	△8,998
四半期連結損益計算書の営業利益	1,355,992

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、当社連結子会社の株式会社保険ステーションは、株式会社Eternal Best Partnerからの事業譲受により、のれんが198,159千円増加しております。